学校番号	120

令和3年度　　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	5	年次	1年次
使用教科書	「精選国語総合」（東京書籍）						
副教材等	①「ビジュアルカラー国語便覧　改訂版」（大修館書店）　②「改訂　漢字検定５～２級対応常用漢字ダブルクリア＜四訂版＞」（尚文出版） ③「イラストとシーンでおぼえる　Look＠古文単語337」（京都書房）　④「読解をたいせつにする　要点プラス　体系古典文法」（数研出版） ⑤「〔改訂版〕読み・解き・覚える 日本文学史必携」（第一学習社）　⑥「新演習　現代文アチーブ１　四訂版」（桐原書店） ⑦「新演習　古典アチーブ１　三訂新版」（桐原書店）　⑧「改訂版　国語総合へのファーストステージ」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では、様々な種類の文章や韻文が登場します。それらを読み込み、味わうことで自分自身の考えを深め、感性を豊かのものにしましょう。そのためには、自分の頭で考え、自分の力で作品を読み込むことが必要です。文章の読解をしながら作品の深みを味わうことができたときには、何にも代えがたい感動があります。また、そのように作品を通して学んだことや自分の考えを書いたり発表したり、人の意見を聞いたり読んだりすることで、伝え合う力を高め、積極的に表現力を身につけて下さい。

2　学習の到達目標

・国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める
・評論や随想を読み、読解力や語彙力を身につける。
・様々な言語活動を通して豊かな言語感覚を磨き，言語文化に対する関心を深める。
・文学作品を深く味わうことで思考力や想像力を伸ばし，心情を豊かにする。
・古典作品を通じて、言語文化に対する関心を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語や言語文化に対する関心を深めるとともに、伝え合う力を高め進んで表現したり理解したり、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	自分の考えをまとめ、深めながら、目的や場に応じて話し的確に聞き取ったり、論理的に話し合ったりする。	自分の考えをまとめ、深めながら、相手の意図や目的に応じ、適切な表現の文章を書く。	自分の考えを深め、発展させながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取り、読書に親しむ。	表現と理解に役立てるための音声、文法、語句、語彙、漢字等や伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりを理解し、知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察（授業や課題への取り組み） ・記述の点検（ノート、ワークシート等）	・行動の観察（発表や朗読等の音声言語活動） ・記述の確認（発表時等における相互評価への取り組み）	・記述の確認及び分析（ワークシート、短作文、作文、韻文創作等）	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	e	単元(題材)の評価規準	評価方法
1	随想	『届く言葉』	○	◎		○		a:考えをまとめようとしたり、的確に聞き取ろうとしている。 b:考えをまとめて話したり、的確に聞き取っている。 d:文章を的確に読み取っている。	a:行動の観察 b:行動の確認 記述の点検 d:記述の点検 定期考査
	小説(1)	『羅生門』	○	○		◎		a:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わおうとしている。 b:様々な角度から検討し自分の考えをもち、根拠を明確にして意見を述べる。 d:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わっている。	a:行動の観察 b:行動の確認 記述の点検 d:記述の点検 定期考査
	詩	『冬が来た』 『汚れつちまつた悲しみに……』	○		◎	○		a:考えをまとめて適切に文章にしようとしている。 c:考えをまとめて適切に文章にしている。 d:詩を的確に読み取っている。	a:行動の観察 c:記述の点検 d:記述の点検 定期考査
	評論(1)	『水の東西』	○			◎	○	a:文章を的確に読み取ろうとしている。 d:文章を的確に読み取っている。 e:理解に役立てるための語句、漢字等の知識を身につけている。	a:行動の観察 d:記述の点検 定期考査 e:定期考査
	評論(2)	『時間と自由の関係について』	○			◎	○	a:文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりしようとしている。 d:文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりしようとしている。 e:理解に役立てるための語句、漢字等の知識を身につけている。	a:行動の観察 d:行動の確認 記述の点検 e:定期考査

1	古文入門	『児のそら寝』 『絵仏師良秀』	◎				○	a:文章を読み深めるために正確に音読しようとしたり、聞き取ろうとしている。 e:作品理解に役立てる為の古文単語や古典文法、文学史の知識を身につけている。	a:行動の観察 e:定期考査
	随筆を読む	『徒然草』	◎			○		a:文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとしている。 d:文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。	a:行動の観察 d:行動の確認 記述の点検 定期考査
		『枕草子』	○			○	◎	a:作品理解に役立てる為の古文単語や古典文法、文学史の知識を身につけようとしている。 d:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わっている。 e:作品理解に役立てる為の古文単語や古典文法、文学史の知識を身につけている。	a:行動の観察 d:記述の点検 定期考査 e:定期考査
2	小説(2)	『沖縄の手記から』	○	○		◎		a:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わおうとしている。 b:考えを深めるために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方を工夫して話し合っている。 d:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わっている。	a:行動の観察 b:行動の確認 記述の点検 d:定期考査
	詩	『I was born』	○		◎	○		a:考えをまとめて適切に文章にしようとしている。 c:考えをまとめて適切に文章にしている。 d:詩を的確に読み取っている。	a:行動の観察 c:記述の点検 d:記述の点検 定期考査
	評論(3)	『まちの豊かさとは何か』	○			○	◎	a:理解に役立てるための語句、漢字等の知識を身につけようとしている。 d:文章に内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。 e:理解に役立てるための語句、漢字等の知識を身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:定期考査
	短歌と俳句	「十五の心」 「白牡丹」	○		◎	○		a:対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書こうとしている。 c:対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書いている。 d:作品を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。	a:行動の観察 c:行動の確認 記述の点検 d:定期考査
2	漢文入門	訓読の基本	○			○	◎	a:文章を理解するのに必要な語句や訓読のきまりごとを身につけようとしている。 d:漢文を口語訳し解釈することができる。 e:文章を理解するのに必要な語句や訓読のきまりごとを身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:定期考査
	日記を読む	『土佐日記』	○			◎	○	a:文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとしている。 d:文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。 e:文章を理解するのに必要な古文単語や古典文法を知識として身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:定期考査
	歌物語を読む	『伊勢物語』	○			◎	○	a:文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとしている。 d:文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。 e:文章を理解するのに必要な古文単語や古典文法を知識として身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:定期考査
	和歌と俳諧	『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』	○			◎	○	a:作品の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとしている。 d:作品の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。 e:作品を理解するのに必要な古文単語や古典文法を知識として身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:定期考査
	故事成語	『矛盾』 『推敲』	○			○	◎	a:文章を理解するのに必要な訓読のルールを知識として身につけようとしている。 d:文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。 e:文章を理解するのに必要な語句や訓読のルールを知識として身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:定期考査
	寓話	『塞翁馬』	○			○	◎	a:文章を理解するのに必要な訓読のルールを知識として身につけようとしている。 d:文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。 e:作品を理解するのに必要な漢文単語や漢文文法を知識として身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:定期考査

3	小説（三） 評論（四）	『鏡』 『生物の多様性とは何か』	○	○		◎		a:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わおうとしている。 b:考えを深めるために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方を工夫して話し合っている。 d:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わっている。	a:行動の観察 b:行動の確認 記述の点検 d:定期考査
			○			◎	○	a:文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりしようとしている。 d:文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりしようとしている。 e:理解に役立てるための語句、漢字等の知識を身につけている。	a:行動の観察 d:行動の確認 記述の点検 e:定期考査
3	作り物語 思想	『竹取物語』 『論語』	○			◎	○	a:文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとしている。 d:文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。 e:文章を理解するのに必要な古文単語や古典文法を知識として身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:定期考査
			○			○	◎	a:作品理解に役立てる為の漢文単語や漢文文法の知識を身につけようとしている。 d:文章に描かれた情景、心情等を表現に即して読み味わっている。 e:作品理解に役立てる為の漢文単語や漢文文法の知識を身につけている。	a:行動の観察 d:記述の点検 定期考査 e:定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力　d:読む能力 e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。

副教材は、教科用図書の理解を助けたり参考の資料として、常に参照するものとして使用する。